



①善行青少年表彰【山中碧（須木小6年）、芹田喜彬（細野中3年）、東原里紗（須木中2年）、藤南彩（西小林中3年）】②ガリバープロジェクト発表【西小林小】③学習発表【永久津中】④よさこいソーラン【野尻保育園】⑤わけもんの主張【池田美由紀】⑥青少年の主張【満田崇（小林中3年）】⑦～⑨作文発表【⑦鎌田千重（野尻中1年）】【⑧一色竜雅（野尻小5年）】【⑨山田らんな（三松小1年）】⑩～⑫家庭教育学級活動事例発表【⑩古川祐子（さつき学級）】【⑪高山きよ子（銀杏学級）】【⑫田丸京子（わかさ学級）】⑬こばやし発はしれ！ぞうれっしゃ

## 夢・絆・愛・命を大切に 学校・家庭・地域の 教育フォーラム



▲2年ぶりに復活した「こばやし発はしれ！ぞうれっしゃ」をPRする美しい絵。（文化会館ロビーにて）

愛がテーマの第1部は、善行青少年の表彰や、地域における青少年健全育成の事例発表などを実施。西小林小が取り組んだガリバーマップの紹介や永久津中の生徒が「美しい町 小林」と題して調査し、学習した成果が発表されました。

夢がテーマの第2部は、青少年の主張を小林中3年の満田崇さんが、わけもんの主張を小林市役所の池田美由紀さんが発表。また、野尻保育園の園児が「よさこいソーラン『来っみやい！』」を元気良く踊りました。

絆がテーマの第3部では、大災害を題材にした作文を見童・生徒が発表。命の尊さや家族への感謝など感動的な内容が続きました。また、東方小と小林中、野尻中の家庭教育学級の熱心な取り組みが紹介されました。

命がテーマの第4部は「こばやし発はしれ!!ぞうれっしゃ」を上演。保育園・幼稚園児から小・中・高校生、青年団や保護者など総勢約200人が平和や命の尊さを唄いあげフィナーレ。会場を温かい感情が包み込みました。

## 暴力団追放し安心安全なまち 市・教育委員会・警察署が協定

2月13日、市・教育委員会と小林警察署の間で暴力団排除措置を講ずるための連携に関する協定が締結されました。これは安心で安全なまちづくりのために行政と警察が連携することを確認するもの。大野俊朗小林警察署長は「連携し暴力団排除活動を展開したい」とあいさつしました。



肥後正弘市長は「警察と情報を共有し、緊密に連携しながら、市民の安心と安全を守りたい」とあいさつしました

## 母校の後輩へ歌のプレゼント 内之倉勝哉さんがリサイタル

2月14日、テノール歌手の内之倉勝哉さんが母校である東方中を訪れリサイタルを開きました。観客には、東方小中学生や地域の住民などが来場。イタリアやドイツの歌など11曲を熱唱し「自分の好きな事を伝え、言葉にすること。それが将来の自分の支えになる」と語りかけていました。



内之倉さんの伸びやかな声に東方中3年の水流みなみさんは「先輩にこんな素晴らしい人がいることを知り驚いた」と話していました



歓喜のポーズでゴールテープを切る女子アンカーの黒木選手【写真左】と男子アンカーの福留選手【写真右】

## 新人駅伝で男子が大会新を樹立 小林高駅伝部男女V

2月12日、第39回県高校新人駅伝競走大会が小林・高原間で開かれました。女子の小林Aは、5人中4人が区間賞を獲得し安定したレースで優勝。男子の小林Aは前半から独走態勢に入るも、気を緩めず走りぬき大会記録を5秒更新し見事14連覇を果たしました。



小林さくらの会の海老原隆文会長は「桜を守り育てるには皆さんの力が必要。今年もきれいな桜が咲くだろう」と春を期待していました

## 満開の桜並木を願って 牧場で桜の手入れ作業

2月12日、牧場の桜の手入れ作業が現地で行われました。小林さくらの会を中心に、市民や市内の各団体など約100人が参加。約3kmの市道沿いに植えられた約1,000本の育成状態を確認しながら、枯れ枝や病気に感染した枝の切除や、沿道のごみ拾いなどを実施しました。